

2024-25 Governor's

Monthly Communication

Rotary International District 2690

2024-25年度
国際ロータリー会長
ステファニー A.アーチック

2024-25年度
国際ロータリー第2690地区
地区ガバナー 榊原 敬

VOL.5 2024.11.1



Contents

ロータリー財団月間にちなんで	2
ロータリー財団補助金について	3
ロータリー財団補助金奨学生ごあいさつ	4
ロータリー財団補助金奨学生ごあいさつ	5
クラブ米山記念奨学委員長研修会ならびに米山奨学生終了式	
諮問委員会・ガバナー補佐会・行事予定表	6
地区だより	7
出席報告	8

Volunteer activity

- ①鳥取西RC 地域課題解決プログラミング体験プロジェクト
- ②鳥取西RC 青少年交換事業 受入学生鳥取砂丘一斉清掃参加
- ③鳥取RC 空港ピアノ
- ④鳥取RC ベンチ製作
- ⑤児島RC 第10回倉敷国際トライアスロン大会ボランティア
- ⑥児島RC クリーン大作戦
- ⑦益田RC 明誠高校インターアクトクラブとの共同実施
「雪舟庭園萬福寺清掃活動」
- ⑧益田RC 大喜庵(画聖雪舟終焉の地) 清掃奉仕活動
- ⑨総社RC 総社市クリーン作戦

ロータリー財団補助金について

補助金小委員会委員長

小幡 篤志



1917年、当時のロータリー会長アーチ・クラフが、「世界でよいことをするため」の基金の設置を提案しました。最初の寄付は26ドル50セントでした。その後1928年に「ロータリー財団」と命名されました。

ロータリー財団の使命は、「ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること」です。財団はロータリー会員等からの自発的な寄付のみによって支えられており、ご寄付はロータリー財団の補助金等となり、助けを必要とする地域社会に役立てられています。

ご寄付先は、年次基金、恒久基金、ポリオプラス基金などに分類されます。このうち年次基金（シェア）は、地元や海外で実施されるロータリー財団の幅広い活動を支援する主な資金源です。「Every Rotarian, Every Year」の寄付推進活動では、毎年、財団の年次基金に寄付するとともに、財団のプログラムや補助金に参加することをロータリー会員にお願いしています。

年次基金（シェア）へのご寄付は、47.5%がWF（国際財団活動資金）へ、47.5%がDDF（地区財団活動資金）へ、5%が管理運営費へ振り分けられます。財団は、地区が参加できる国際的な補助金やプログラムにWFを使用します。一方、地区は、地区が選んだ財団プログラムや活動にDDFを配分できます。

財団では、寄付の3年後にDDFを使用できる独自の3年周期システムを採用しています。地区は、この3年間に、十分な時間をかけてプログラムの計画や参加者の選考を行うことができま

す。例えば、今年度2024-25年度の当地区の地区補助金やグローバル補助金、ロータリー平和フェローシップ（奨学金）等のプログラムは、2021-22年度に当地区から行われたご寄付の47.5%を財源に充てられることになっています。

ロータリー財団の補助金には、大きく分けて地区補助金と、グローバル補助金があります。地区補助金は、一括で地区に支払われ、地元や海外のニーズに取り組むために使用できる補助金です。地区は毎年、ロータリー財団の使命を支える地区やクラブの活動（職業研修チーム、奨学金、人道的奉仕プロジェクト、青少年プログラムなど）を支えるために、使用可能なDDFの50パーセントまでを地区補助金として申請できます。

グローバル補助金は、戦略的な観点から大きな影響をもたらす、地区やクラブの活動に使用できる補助金です。大規模で国際的な人道的プロジェクト、職業研修チーム、奨学金（修士課程または博士課程）のために活用でき、重点分野のいずれかにおいて、持続可能かつ測定可能な成果をもたらすことが求められます。（ロータリーにおける「持続可能性」とは、「補助金資金がすべて使用された後にも、地域社会の人びとが自力で地域のニーズを満たしていけるよう、長期的な解決策を提供すること」を意味します。）

このほか、自然災害に対応するための災害救援補助金、大規模災害補助金も用意されています。

ロータリー会員の皆さまのご寄付が財源となって、世界で、地区でよいことをする。この世界共通のシステムが今後も円滑に機能するよう、皆さまからのご寄付と、補助金事業等の実施を積極的にご検討いただけますよう、お願いいたします。

2024-25 年度 ロータリー財団 地区補助金奨学生ごあいさつ

山岡 淳奈



皆さま、初めまして。2024-2025 年度の第 2690 地区補助金奨学生の山岡淳奈（やまおか じゅんな）と申します。私は島根県浜田市に所在する浜田ロータリークラブから派遣され、2024 年 9 月から 2025 年 6 月までアメリカのシアトルにあるワシントン大学院に進学します。進学先の大学院での専攻は「Master of Professional Accounting」というコースになり、主にさまざまな会計ソフトウェアを用いたデータ分析をメインに学ぶ予定です。9 カ月と短期集中型ではありますが、冬セメスターではインターンシップの機会もあり実践的なコースとなっています。少人数制でグループワークも多く現地学生が 75% 以上を占める環境であるため私にとっては大変な環境だとは思いますが、自分が成長できる機会と捉えて精一杯頑張ろうと思います。

大学時代は国際関係を専攻しており、オーストラリアのウーロンゴン大学に 1 年間留学し現地で

は国際学を学びました。大学卒業後は日本製紙株式会社にて海外営業・輸出業務を 3 年半、独立行政法人国際協力機構で海外投融資に関する経理・会計関連業務を約 2 年間行っていました。仕事と並行して米国公認会計士試験に昨年全科目合格しました。約 6 年ぶりに社会人から学生に戻るの新鮮な気持ちです。9 カ月という短い学生生活になりますが、より一層学業に専念していきたいと思っています。

今回の留学を通じてさらにデータ分析スキルを中心とした専門性を高めると同時に語学力を伸ばし、留学後は監査法人もしくは会計ファームへ就職し、長期的には機会があれば会計分野を軸に国際機関の就職も視野に入れています。定期的に報告書を通じて現地での学びについて発信していけたらと思っていますので、皆さまこれからどうぞよろしくお願いいたします。



第 2690 地区クラブ米山記念奨学委員長研修会・ ロータリー米山記念奨学生終了式 報告

地区米山記念奨学委員会 委員長 生本 寛

2024 年 9 月 14 日（土）13：30 より ANA クラウンプラザホテル岡山において、2024-25 年度のクラブ米山記念奨学委員長研修会ならびにロータリー米山記念奨学生終了式を開催させていただきました。

冒頭、榊原地区ガバナーより開会のごあいさつにつづき、岩崎陽一（公財）ロータリー米山記念奨学会評議員、末長範彦（公財）ロータリー米山記念奨学会理事よりごあいさつをいただきました。

最初に、本年度 6 名の修了者と各々のカウンセラーを担当いただきました皆さまに、地区ガバナーより終了証と感謝状が贈呈され、修了者よりそれぞれスピーチをしていただきました。

また、南宗君地区米山学友会会長より修了者に対し、学友会の活動紹介と入会のご案内をしていただきました。続いて、私より委員長の皆さまへ米山記念奨学会の概要と活動報告をさせていただきました。

さらに、森本信一（公財）ロータリー米山記念奨学会広報委員より「米山記念奨学事業への理解を深めるために」と題し、ご講話をいただきました。

最後に、坂口元昭地区ガバナーエレクトより閉会のごあいさつをいただき、日程を終了させていただきました。



新会員のご紹介



ロータリー財団への寄付

メジャードナーレベル 1

ボール・ハリス・フェロー (年次基金への寄付)



ボール・ハリス・フェロー (年次基金への寄付)

ボール・ハリス・フェロー (ポリオプラスへの寄付)



クラブ 年次基金

笠岡RC…………… 178.43 ドル (ミリオンダラーミール)
笠岡東RC…………… 199.03 ドル (ミリオンダラーミール)
岡山岡南RC…………… 262.86 ドル (ミリオンダラーミール)
岡山岡南RC…………… 127.30 ドル (財団 BOX)

クラブ ポリオプラス

倉吉RC…………… 119.59 ドル
米子中央RC…………… 242 ドル
松江RC…………… 434.48 ドル
松江南RC…………… 462.07 ドル
出雲南RC…………… 279.31 ドル (ミリオンダラーミール)
倉敷RC…………… 227.59 ドル

ポリオプラス・ソサエティ登録者

境港RC…………… 酒井 博淳	松江RC…………… 加藤 令	倉敷RC…………… 星島 和一郎
境港RC…………… 松本 正	出雲中央RC…………… 矢田 信一	倉敷RC…………… 高本 均
米子南RC…………… 長谷川 義明	江津RC…………… 山藤 志哲	倉敷RC…………… 椿原 彰夫
米子南RC…………… 松浦 常明	江津RC…………… 押越 奈津紀	倉敷南RC…………… 三宅 繁
米子南RC…………… 錦織 信雄	益田西RC…………… 山口 育美	

米山記念奨学会への寄付

米山 功 労 者



クラブ 普 通 寄 付

備前RC…………… 225,000 円

クラブ 特 別 寄 付

出雲南RC…………… 40,500 円 (米山ランチ)

お知らせ

平田ロータリークラブ事務局が10月12日より下記住所に移転しました。電話・FAX・E-mail は変更ありません。
〒691-0001 出雲市平田町 2280-1

お知らせ

2024年9月10日、(公財)ロータリー米山記念奨学会評議員会にて、末長範彦パストガバナーがロータリー米山記念奨学会理事に選出されました。

訂正とおわび

月信10月号 (Vol.4) に右記の誤りがありました。訂正しておわび申し上げます。

●7P ロータリー財団への寄付 ボール・ハリス・フェロー (年次基金への寄付)
(誤) 小笠原通弘 (児島東RC) → (正) 小河原通弘 (児島東RC)